

GSX 新サービス「McAfee ATD レポート解析サービス」正式リリース

グローバルセキュリティエキスパート株式会社（本社：東京都港区新橋1-18-16、代表取締役社長：久慈 正一、<http://www.gsx.co.jp>、以下GSX）は、同社サイバーセキュリティサービスの新サービスラインナップとして、マカフィー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：ジャン・クロード・ブロイド）が提供する標的型攻撃マルウェア対策ソリューションであるMcAfee Advanced Threat Defense（マカフィー アドバンスド スレット ディフェンス、以下McAfee ATD）専用サービス『McAfee ATD レポート解析サービス』をサービスリリースしました。

McAfee ATD レポート解析サービスは、McAfee ATD専用のインシデント対応支援サービスです。お客様に代わって、GSXの専門アナリストがアウトプットされたレポートの内容を解析・評価し、迅速且つ最適なインシデント対応をサポートします。

この数年、外部からの脅威であるサイバー攻撃、なかでも標的型攻撃による被害事例は依然として増えるばかりです。例えば、社内のファイルサーバーに潜伏していたマルウェアによって営業機密情報が搾取され続けたまま、長期間に渡って気づけなかった企業が非常に多くいらっしゃることも現実の脅威となります。今や、それら情報セキュリティインシデントは経営リスクに直結し、サイバー攻撃対策は企業にとっての生命線と言えます。

◆標的型攻撃マルウェア対策ソリューションMcAfee ATDとは

McAfee ATDは既知と未知のマルウェアに、高い実績を誇る検知テクノロジーに加えて、高度なサンドボックス解析と、サンドボックス解析でも見つけられない脅威を補完する詳細な静的コード解析を実装しています。さらに、マカフィーは包括的なマルウェア対策をシンプルな製品連携で実現し、検知後に必要となる被害の最小化と問題対応の効率化を可能にします。

- 既知と未知のマルウェアに対応
シグネチャやレピュテーションに加えて、シグネチャレスのエミュレーション、サンドボックスなど複数の検知テクノロジーを組み合わせ、既知と未知のマルウェアに対応します。
- 製品連携で被害を最小化
McAfee Network Security Platform、Email Gateway、Web Gateway等のネットワークセキュリティ製品と連携して検知情報を共有し、素早い遮断で被害を最小化します。
- 問題対応支援
エンドポイントソリューションとの連携を強化することにより、マルウェアへの対応に必要な情報収集を効率化し、影響調査やマルウェア無効化などの事後対応を支援します。

◆レポート解析が必要な背景

McAfee ATDが自動作成するマルウェア解析のレポートは、英語で提供され、脅威、マルウェア、Windows OS等に関する専門用語が使用されている為に不慣れな運用者にとって時間を要す

る事があります。専門的な知見を有するGSXの専門アナリストであれば、これまで長い間蓄積した経験を活用し、事象の解説をより正確かつ精緻に提供します。

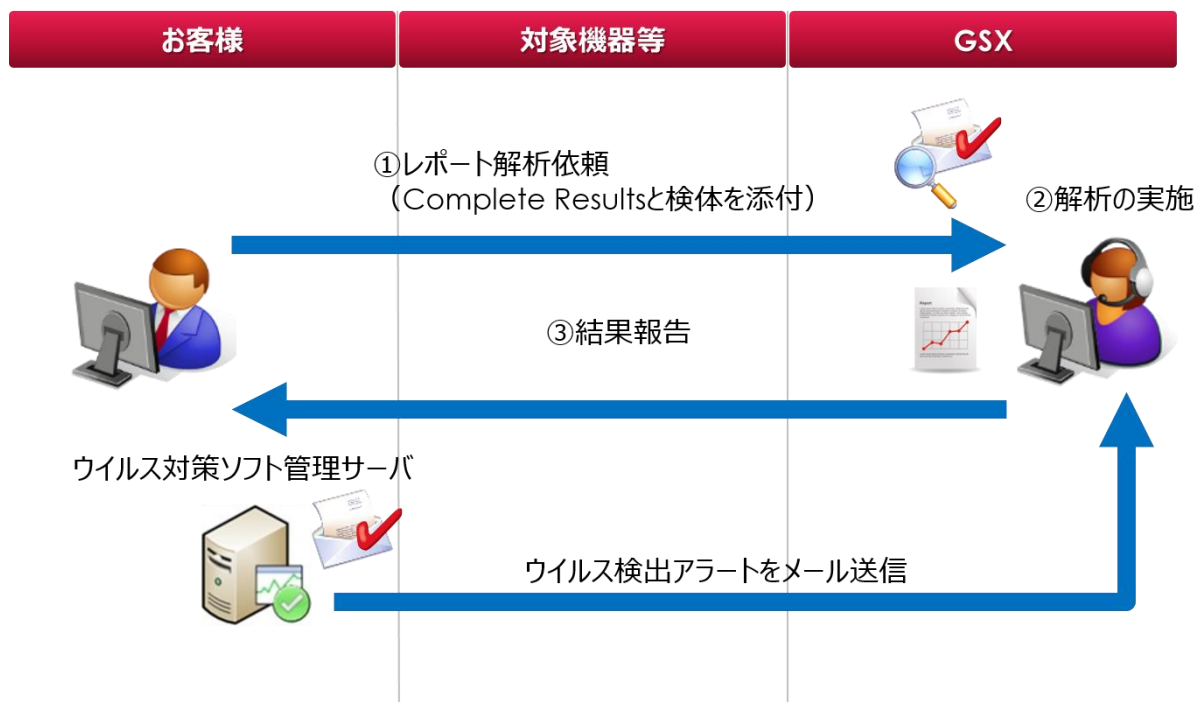
一方で、McAfee ATDによりマルウェアが検出されたということは、既存のセキュリティ対策をすり抜けた脅威が組織内に侵入しようとしている可能性を示すもので、組織としてはその脅威の判定や対処の検討を早々に進めることで被害の未然防止に役立ちます。

この解析を外部の専門機関に委託しようと考えた場合、特に24時間365日の監視対応では費用が高くなり、より広いお客様にご活用されにくい側面もあります。GSXではこれまで蓄積してきた専門アナリストの経験をより広いお客様にご活用いただけるサービスを目指して、費用を抑えながら専門性の高いサービスを提供できるようにしました。

◆レポート解析サービスの流れ

McAfee ATDレポート解析サービスは、McAfee ATD専用のインシデント対応支援サービスです。お客様に代わって、GSXの専門アナリストが発生したレポートの内容を解析・評価し、迅速且つ最適なインシデント対応をサポートします。

本サービスでは、お客様にレポート解析が必要と判断されるマルウェア感染有無などについて、ご依頼を頂く都度、解析を実施し、結果をご報告させていただきます。



◆ご提供価格

項目	価格 (税抜き)	内容
初期費用	¥200,000	運用開始に必要な設定、疎通確認等
月額費用	¥150,000 ~	月/10件までのインシデント対応

◆本リリースに関するマカフィー株式会社様からのエンドースメント

このたび、グローバルセキュリティエキスパート株式会社より『McAfee ATD レポート解析サービス』の提供が開始されることを心より歓迎いたします。

昨今の標的型攻撃を始め巧妙化する脅威は複雑化しており、その中でも高度なマルウェアの侵入阻止は極めて重要なため、高性能なマルウェア検知製品であるMcAfee Advanced Threat Defenseをリリースいたしました。

グローバルセキュリティエキスパートの豊富な経験を生かしたレポート解析サービスはMcAfee Advanced Threat Defenseを活用するお客様のセキュリティ強化に重要な役割を果たすことを確信しています。

マカフィー株式会社
コーポレート事業統括 専務執行役員
小笠原 誠

◆INTEROP Tokyo 2015 マカフィーブースでの『McAfee ATD レポート解析サービス』ご紹介について

今月10日（水）より幕張メッセで開催されるINTEROP Tokyo 2015 マカフィーブースにてMcAfee ATD レポート解析サービスをGSX事業開発部からご紹介させていただきます。対面ご紹介をはじめ、各ブースセミナーでのご紹介も予定しておりますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

INTEROP Tokyo 2015 開催概要

会期	: 2015年6月10日（水）10:30-18:00 6月11日（木）10:00-18:00 6月12日（金）10:30-17:00
会場	: 幕張メッセ（〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1）
ブース位置	: 4H21
ブースセミナー日程（予定）	: 2015年6月10日（水）13:05-13:20 / 16:00-16:15 6月11日（木）13:30-13:45 / 16:50-17:05 6月12日（金）13:05-13:20

◆グローバルセキュリティエキスパート株式会社について

社名 : グローバルセキュリティエキスパート株式会社
本社 : 〒105-0004 東京都港区新橋1-18-16 日本生命新橋ビル3F
代表者 : 代表取締役社長 久慈 正一
資本金 : 2億7,000 万円
コーポレートサイトURL : <http://www.gsx.co.jp/>
事業内容 :

国内初の情報セキュリティ専門コンサルティング会社として2000年に設立され、脆弱性診断、コンサルティング、サイバーセキュリティサービスにいたる広範な情報セキュリティサービスを提供しています。

情報セキュリティポリシーの国際標準基準となった英国規格協会（BSI）のBS7799（現ISO27000）を日本に初めて紹介し、高品質な情報セキュリティコンサルテーションを行って

ます。

さらに、高い技術を有し、システムの脆弱性の検出のためにプラットフォーム診断やWebアプリケーション診断、スマホアプリセキュリティ診断などさまざまな脆弱性診断を行う【タイガーチームサービス (TIGER TEAM SERVICE) 事業部】、標的型メール訓練サービスやマルウェア感染調査をはじめとする新しい脅威に対抗するサービス/ソリューションをご提案する【サイバーセキュリティサービス】、企業様のセキュリティポリシーの策定・リスクアセスメント・システム監査または、ISMSやPマーク取得支援、PCI DSS準拠認定支援などを行っている【コンサルティング事業部】を組織しています。

【サイバーセキュリティサービス】には、GSXサイバーセキュリティ研究所 (GSX Cyber Security Research Institute) を擁し、セキュリティ製品評価やサイバー攻撃に関する情報収集及び分析、セキュリティインシデント対応要員の育成を進めており、問題指摘のみならず、インシデントに対する解決策までをワンストップで提供できる体制を整えています。

【本件に関するお問い合わせ先】

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 事業開発部 マーケティング室
TEL : 03-3507-1360 (代) E-mail : mktg@gsx.co.jp